

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年8月14日
【四半期会計期間】	第73期第1四半期(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)
【会社名】	花月園観光株式会社
【英訳名】	KAGETSUENKANKO Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松尾 嘉之輔
【本店の所在の場所】	横浜市鶴見区鶴見1丁目1番1号
【電話番号】	045(572)2200
【事務連絡者氏名】	執行役員総務部長 堤 道雄
【最寄りの連絡場所】	横浜市鶴見区鶴見1丁目1番1号
【電話番号】	045(572)2200
【事務連絡者氏名】	執行役員総務部長 堤 道雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第72期 第1四半期 累計(会計)期間	第73期 第1四半期 累計(会計)期間	第72期
会計期間	自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	自平成21年4月1日 至平成21年6月30日	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
売上高(千円)	374,839	423,206	1,643,911
経常損益(千円)	48,854	6,703	135,810
四半期(当期)純損益(千円)	55,001	8,086	689,055
持分法を適用した場合の投資損益(千円)	199	1,333	16,183
資本金(千円)	883,300	883,300	883,300
発行済株式総数(千株)	17,666	17,666	17,666
純資産額(千円)	4,326,009	3,670,915	3,673,188
総資産額(千円)	7,076,891	6,905,435	6,970,622
1株当たり純資産額(円)	245.72	208.64	208.74
1株当たり四半期(当期)純損益金額(円)	3.12	0.46	39.15
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	61.1	53.2	52.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	51,870	35,182	146,956
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	96,432	4,056	5,120
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	9,714	49,739	111,477
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(千円)	258,802	142,200	160,813
従業員数(人)	41	42	43

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在していないため記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2【事業の内容】

当第1四半期会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第1四半期会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

提出会社の状況

平成21年6月30日現在

従業員数（人）	42	(52)
---------	----	------

- (注) 1．従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数（パートタイマーを含む。）は、()内に当第1四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。
- 2．満60歳定年制を採用しております。

第2【事業の状況】

1【売上高の状況】

当第1四半期会計期間の売上高実績を示すと、次のとおりであります。

	当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	前年同四半期比(%)
競輪関連事業(千円)	423,206	112.9

(注)1. 主な相手先別の売上実績及び当該売上実績の総売上実績に対する割合

相手先	前第1四半期会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
神奈川県競輪組合	97,161	25.9	187,939	44.4

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第1四半期会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク 2.花月園競輪運営業務受託によるリスク」のうち、平成20年度の損失補填金額の分割払いについては、8年間の分割払いが決定し、平成21年5月に1年目の損失補填金額として7千万円の支払いを済ませております。

その他のリスクについては、重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

賃貸契約

契約会社名	相手先の名称	契約内容		契約期間
		契約種類	賃貸料率	
花月園観光(株)	神奈川県競輪組合	花月園競輪場の賃貸	賃貸料は原則として 車券売上高の4%	平成21年4月1日から平 成22年3月31日まで

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期会計期間の売上高は、4億2千3百万円（前年同期売上高 3億7千4百万円）となりました。これは主に、平成21年5月に花月園競輪場で開催した「全日本プロ選手権自転車競技大会記念競輪」の賃貸料収入が6千3百万円あったことが要因です。花月園競輪場は本場開催の日数が5日増加し、通常賃貸料収入は対前年4千万円の増収、他場の競輪開催の車券を当場で発売する場外開催の日数は6日減少し、場外賃貸料収入は対前年1千4百万円の減収、当場の競輪開催の車券を他場で発売する場外賃貸料収入は、「全日本プロ選手権自転車競技大会記念競輪」開催のため対前年3千4百万円の増収となりました。専用場外車券売場（サテライト）は車券購買単価が減少しサテライト全体で対前年1千6百万円の減収となりました。

営業利益は1千2百万円（前年同期営業損失 3千万円）、経常損失は6百万円（前年同期経常損失 4千8百万円）、四半期純損失は8百万円（前年同期四半期純損失 5千5百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1億4千2百万円（前事業年度末に比べ1千8百万円の減少）となりました。前第1四半期会計期間末に比べて、1億1千6百万円の減少となりました。

< 営業活動によるキャッシュ・フロー >

営業活動の結果得られた資金は3千5百万円（前年同期比 1千6百万円の減少）となりました。当第1四半期会計期間は税引前当期純損失を7百万円、神奈川県競輪組合への損失補填として7千万円を支出しておりますが、資金支出を伴わない減価償却費6千8百万円、花月園競輪包括運営受託業務等の預り金が3千8百万円増加したことによるものです。

< 投資活動によるキャッシュ・フロー >

投資活動の結果使用した資金は4百万円（前年同期比 1億円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

< 財務活動によるキャッシュ・フロー >

財務活動の結果使用した資金は4千9百万円（前年同期比 4千万円の減少）となりました。これは主に短期借入による収入が1億5千万円ありましたが、長期借入金の返済による支出1億8千7百万があったことによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期会計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期会計期間において、前事業年度末において計画中であった重要な設備の改修のうち「投票所一部ファン休憩所化工事」については、平成21年5月に完了し、営業を開始しております。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,666,000	17,666,000	東京証券取引所市場第二部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	17,666,000	17,666,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成21年4月1日～ 平成21年6月30日	-	17,666,000	-	883,300	-	399,649

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載する事ができないことから、直前の基準日（平成21年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成21年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 68,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,433,000	17,433	同上
単元未満株式	普通株式 165,000	-	同上
発行済株式総数	17,666,000	-	-
総株主の議決権	-	17,433	-

【自己株式等】

平成21年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
花月園観光株式会社	横浜市鶴見区鶴見1丁目1番1号	68,000	-	68,000	0.38
計	-	68,000	-	68,000	0.38

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月
最高(円)	64	65	79
最低(円)	46	56	59

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号、以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）は、改正前の四半期財務諸表等規則に基づき、当第1四半期会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び当第1四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）は、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期財務諸表並びに当第1四半期会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び当第1四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	192,200	210,813
売掛金	181,067	177,283
原材料	2,665	1,957
関係会社短期貸付金	30,000	30,000
その他	23,842	19,573
流動資産合計	429,776	439,627
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1 3,351,805	1 3,390,723
構築物(純額)	1 1,081,730	1 1,097,153
機械及び装置(純額)	1 44,819	1 46,273
車両運搬具(純額)	1 254	1 270
工具、器具及び備品(純額)	1 64,064	1 65,475
土地	1,526,995	1,526,995
有形固定資産合計	6,069,670	6,126,891
無形固定資産	206,349	214,378
投資その他の資産	199,638	189,724
固定資産合計	6,475,658	6,530,994
資産合計	6,905,435	6,970,622

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,879	4,439
短期借入金	150,000	-
1年内返済予定の長期借入金	1,131,400	1,219,000
リース債務	29,840	29,840
未払金	104,175	100,416
未払法人税等	3,294	6,712
未払消費税等	11,474	5,111
前受金	5,091	344
損失補填引当金	70,000	544,000
預り金	75,969	37,760
流動負債合計	1,585,125	1,947,625
固定負債		
長期借入金	916,450	1,016,400
リース債務	151,689	159,149
長期未払金	22,864	22,864
繰延税金負債	29,898	25,861
退職給付引当金	84,781	84,781
損失補填引当金	404,000	-
負ののれん	34,709	35,750
その他	5,000	5,000
固定負債合計	1,649,393	1,349,807
負債合計	3,234,519	3,297,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,300	883,300
資本剰余金	399,649	399,649
利益剰余金	2,378,863	2,386,949
自己株式	9,297	9,129
株主資本合計	3,652,515	3,660,769
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,399	12,418
評価・換算差額等合計	18,399	12,418
純資産合計	3,670,915	3,673,188
負債純資産合計	6,905,435	6,970,622

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	374,839	423,206
売上原価	269,052	286,518
売上総利益	105,786	136,687
販売費及び一般管理費	136,494	124,367
営業利益又は営業損失()	30,708	12,320
営業外収益		
受取利息	1,654	373
受取配当金	2,794	1,113
負ののれん償却額	1,041	1,041
その他	811	989
営業外収益合計	6,302	3,517
営業外費用		
支払利息	24,323	22,415
その他	124	124
営業外費用合計	24,448	22,540
経常損失()	48,854	6,703
特別損失		
固定資産除却損	5,408	643
特別損失合計	5,408	643
税引前四半期純損失()	54,262	7,346
法人税、住民税及び事業税	739	739
法人税等合計	739	739
四半期純損失()	55,001	8,086

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失()	54,262	7,346
減価償却費	68,498	68,551
損失補填引当金の増減額(は減少)	-	70,000
有形固定資産除却損	4,119	54
のれん償却額	803	803
負ののれん償却額	1,041	1,041
受取利息及び受取配当金	4,448	1,486
支払利息	24,323	22,415
売上債権の増減額(は増加)	26,837	3,783
たな卸資産の増減額(は増加)	1,071	708
仕入債務の増減額(は減少)	10,501	559
未払消費税等の増減額(は減少)	3,867	6,362
預り金の増減額(は減少)	44,491	38,209
その他	24,194	6,940
小計	74,279	58,411
利息及び配当金の受取額	3,964	1,849
利息の支払額	25,005	22,120
法人税等の支払額	1,368	2,958
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,870	35,182
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	16,000	-
短期貸付金の回収による収入	24,996	-
長期貸付金の回収による収入	125,016	-
有形固定資産の取得による支出	37,579	4,036
その他	-	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	96,432	4,056
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(は減少)	263,500	150,000
長期借入れによる収入	438,000	-
長期借入金の返済による支出	179,630	187,550
割賦債務の返済による支出	4,561	4,561
リース債務の返済による支出	-	7,460
自己株式の取得による支出	23	167
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,714	49,739
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	138,587	18,613
現金及び現金同等物の期首残高	119,253	160,813
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	961	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	258,802	142,200

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第1四半期会計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

	当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第1四半期会計期末 (平成21年6月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額は、10,309,777千円 であります。	1 有形固定資産の減価償却累計額は、10,248,676千円 であります。
2 保証債務 次の関係会社について、金融機関からの借入に対し、 債務保証を行っております。 ㈱サテライト横浜 50,000千円	2 保証債務 同左

(四半期損益計算書関係)

前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次 のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次 のとおりであります。
給与及び手当 56,038千円	給与及び手当 57,572千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照 表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年6月30日現在) (千円)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照 表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年6月30日現在) (千円)
現金及び預金 258,802	現金及び預金 192,200
預入期間が3ヶ月を超える定期預 金 -	担保に供している定期預金 50,000
現金及び現金同等物 258,802	現金及び現金同等物 142,200

(株主資本等関係)

当第1四半期会計期間末(平成21年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数
 普通株式 17,666,000株
2. 自己株式の種類及び株式数
 普通株式 71,382株
3. 新株予約権等に関する事項
 該当事項はありません。
4. 配当に関する事項
 該当事項はありません。

(有価証券関係)

当第1四半期会計期間末(平成21年6月30日)
 該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期会計期間末(平成21年6月30日)
 該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前第1四半期会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
関連会社に対する投資の金額(千円)	40,000	40,000
持分法を適用した場合の投資の金額 (千円)	40,398	22,681
持分法を適用した場合の投資損益の金額 (千円)	199	1,333

(ストック・オプション等関係)

当第1四半期会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)
 該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第1四半期会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)
 該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 . 1 株当たり純資産額

当第 1 四半期会計期間末 (平成21年 6月30日)		前事業年度末 (平成21年 3月31日)	
1 株当たり純資産額	208.64円	1 株当たり純資産額	208.74円

2 . 1 株当たり四半期純損失金額等

前第 1 四半期累計期間 (自平成20年 4月 1日 至平成20年 6月30日)		当第 1 四半期累計期間 (自平成21年 4月 1日 至平成21年 6月30日)	
1 株当たり四半期純損失金額	3.12円	1 株当たり四半期純損失金額	0.46円
なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、1 株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		同左	

(注) 1 株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 1 四半期累計期間 (自平成20年 4月 1日 至平成20年 6月30日)	当第 1 四半期累計期間 (自平成21年 4月 1日 至平成21年 6月30日)
四半期純損失 (千円)	55,001	8,086
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失 (千円)	55,001	8,086
期中平均株式数 (千株)	17,605	17,644

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第 1 四半期会計期間 (自平成21年 4月 1日 至平成21年 6月30日)

リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っておりますが、当第 1 四半期会計期間におけるリース取引残高は前事業年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年 8月14日

花月園観光株式会社
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 丸山 邦彦 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 山口 直志 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 根本 剛光 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている花月園観光株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第72期事業年度の第1四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、花月園観光株式会社の平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期財務諸表に添付する形で別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年 8月14日

花月園観光株式会社
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 磯貝 和敏 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 山口 直志 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 根本 剛光 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている花月園観光株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第73期事業年度の第1四半期会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、花月園観光株式会社の平成21年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期財務諸表に添付する形で別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。